

ひらいずみ 議会だより



●主な内容

政策提言

町民福祉の向上へ5つの提言…………… 2

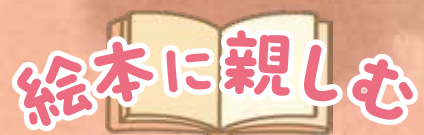
定例会12月会議

指定管理者は共創パートナーズへ …… 4

一般質問

ここが聞きたい

議員8人が町の考えを問う…………… 7



お話しの会「たろうアンドはなこ」

子どもたちの瞳がキラキラとかがやき
出します。

(関連記事P20)

町民福祉の向上

へ5つの提言

総務教民・産業建設常任委員会は町民の暮らしに関わる課題について、解決を図る方策を調査研究し12月会議において町に提言を行いました。今後も継続調査を行い検証してまいります。

社会基盤整備

町民に寄り添い、町民の要望に沿った社会基盤の整備とは何か、入念に検討すべきである。

都市計画マスタープランの改訂を踏まえ、一般住宅は規制の対象外にする。あるいは基準を緩和するほか、地域の特性ごとに景観形成の方針を定めるなど、先進的な事例を参考にしつつ、町民の要望に沿った改訂に取り組まれない。また、長年の課題である町道の改良も引き続き図られたい。

観光・産業振興

物価高に対応した支援を強められたい。またオーバーツーリズム対策も十分に検討すべきである。

価格転嫁が難しい中小零細企業は廃業や倒産の危機にある。町民の安全・安心な暮らしを守るために町内事業者への支援を強められたい。また、平泉町は全国有数の観光地であり、今後、国の方針による観光客の急増も考えられる。その動向を注視し、対応策を検討されたい。

農業振興

鳥獣被害対策を含め、今後の政策には抜本的な改革が必要である。

町民の命と農作物などの財産を守るため、野生鳥獣対策の体制強化を図られたい。特にクマ対策として緊急銃猟の体制確立、実施隊活動報酬等の改善を講じられたい。

町民意見の反映を

町づくりの基本は、人が集まる魅力的な町、活気ある町であることだと思います。今抱えている当町の課題に、町民の意見も十分に生かされ納得のいく解決に向けた取り組みを期待します。

ちじょう けんいち
千條 憲一さん
(平泉字高田)

町民の声



人口の自然増への対策を

加速的に進む人口減少に対して、主だった要因を考察し、子育て世代の要望を取り入れた。

育児や出産に対する不安を解消し、子育てのしやすい環境整備に向けて、中学生の給食費無償化と第2子以降の祝い多子加算の経済的な支援策を講じられたい。また多世代が交流できる公園の整備を早急に図られたい。

町独自の支援策を

平泉町も全国的な傾向と同様に、自然減が人口減少の主要原因となっているようです。安心して子供を産み、働きながら子育てできる環境整備が必要と思われます。国の政策を補填する町独自の支援策に期待します。

すがわら まさる
菅原 賢さん
(平泉字花立)

人口の社会増への取り組み

地域おこし協力隊を含めた、広い人材登用を図り、移住機会の創出を目指すべきである。

空き店舗を活用した小規模ビジネス等の起業を促しつつ、観光客が散策できる町並みの形成を図ることにより、交流人口の増加を図られたい。また、若者のIUターンを目指し、雇用の場の確保と住まいの提供を積極的に行うべきである。




町民の声



下水道条例の一部を改正する条例

使用料の体系は、平成20年に改定して以来、現行の使用料を適用し運営してきたが、現在は一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況である。また、今後の人口減少により使用料収入の減少が見込まれることから、令和7年3月26日平泉町上下水道運営協議会に対し調査、審議を求め、11月12日に答申を受けた。将来にわたり安定的な下水道事業運営を行うため、使用料の改定を行うものである。

お互いの主張のぶつかり合い

反対です	討論	賛成です
<p>町民に説明すべき</p> <p>三枚山光裕 議員</p> <p>反対の理由は、何よりも町民に説明をしていないという点である。また、値上げ幅が、26.69%とかなり高くなっている。</p> 		<p>苦渋の選択である</p> <p>高橋 伸二 議員</p> <p>全国の下水道事業者にとって一番の課題は、全く目に見えないところにある設備を維持管理していく困難さにある。今回の値上げは、英断をしなければならない社会問題であり、町民への丁寧な説明が必要である。</p>
		<p>町民へ納得できる説明を</p> <p>升沢 博子 議員</p> <p>厳しい収支状況を踏まえ、今回の料金改定になったもの考える。町民の安心・安全な暮らしのためにインフラ整備は重要である。町民に対しての十分納得のいく説明をしたうえで料金改定に取り組んで欲しい。</p>

陳情は継続審査が決定！

「ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・教育予算の拡充についての陳情」

今回、陳情の付託を受けた総務教民常任委員会では後日、参考人を招致の上、陳情内容を再度議論します。

※継続審査とは…結論を急がず、時間をかけて引き続き委員会で内容を精査、検討すること。通常は付託された請願・陳情等は委員会で審査され、本会議で採択・不採択の結論に至る。

Pick up 指定管理者は共創パートナーズへ

これまで学習交流施設エピカの運営業務を担ってきたシダックス大新東ヒューマンサービス(株)に代わり、令和8年4月から平泉みらい共創パートナーズが今後5年間の指定管理者として選定された。指定管理料は年額6,250万円を上限と想定している。

※指定管理者制度とは…公共施設の運営を自治体に代わって民間等が担う仕組みである。主に経費削減・サービス向上・民間の専門的知見の活用がその目的である。

定例会12月会議
議定例会12月会議は、4日から11日までの会期で開催され、中でも指定管理者の選定が注目点として挙げられます。

問 令和7年2月の指定管理に関する質疑では、指定管理料は指定管理者側の都合であってはならず、誰にでも理解できる可視化された形で対応すると答弁があった。今回の指定管理料の設定にあたって、何らかの基準は設けたのか。

答 これまでの経過を踏まえ、基準は設けている。具体的には町の予算科目にあわせた形の様式を作り、それを公募の様式として申請団体に記載してもらう形をとった。前回と異なり、十分に比較検討できる形で公募を行った。

問 年額6,250万円の指定管理料は今後の光熱水費、人件費、物価上昇分を見込んだものであると説明があった。これはこの額を上回ることではないという認識で良いか。

答 基本的には、合意に至った6,250万円という金額の中で進めていく考えである。しかし、急激な社会情勢の変化等がある可能性は否定できず、その際にはお互いの信頼関係の中で協議していくことは考えられる。

問 そのような状況下に陥った時に、どのような形で議論するのか。しっかりと明示した基本協定附属覚書等を作成し、細部に至るまで取り決めを交わすべきではないか。

答 予期せぬ事態になった場合の考え方については、指定管理者と整理しながら協議を進めていきたい。

サービスの向上を

様々な事業が行われたことで、利用者が年々増加していると聞いています。来年度から指定管理者が変更となりますが、これまで以上にサービス向上に取り組み、町民が気軽に集える施設にしていきたい。

千葉 一彦さん
(平泉字花立)



町民の声

ここが聞きたい!

議員自身の考え、町民の生の声、町の施策などを執行者に質します。
今回は8人の議員が登壇しました。

P 8 氷室裕史 議員

①小中学校の体育館等の空調整備とその効果

P 8 大友仁子 議員

①充実した教育環境

P 9 千葉多嘉男 議員

①住民及び観光客の交通確保
②少子化に伴う複式学級への移行

P 9 真筆光幸 議員

①人口減少を見据えたまちづくり
②高齢者支援対策
③クマから子どもを守る対策

P10 小埜寺享 議員

①クマ出没対策

P10 升沢博子 議員

①起業支援
②地域おこし協力隊の活動

P11 三枚山光裕 議員

①平泉町健康福祉交流館
②高齢者福祉
③地球温暖化対策と環境問題

P11 阿部圭二 議員

①農業振興
②商工業振興
③鳥獣被害対策

※各議員の質問ページの氏名隣りのQRコードから、個人の質問の内容がご覧になれます。



一般質問と総合計画

平泉町は総合計画に基づき、町長が施策を推進しています。6つの基本目標に大別された分野別の課題や進捗状況、政策について議員が町長等に質するのが一般質問です。各議員が総合計画におけるどの分野について質問しているのかを可視化しました。

総合計画 6つの基本目標

1. 協働のまち

1-1 子どもの教育の充実	氷室・大友・千葉(多)
1-4 移住・定住の推進	真筆

2. 福祉の充実

2-2 地域福祉の充実	三枚山
2-3 高齢者福祉の充実	真筆・三枚山

3. 観光と産業

3-1 農業の振興	阿部
3-2 農山村環境の保全	真筆・小埜寺・阿部
3-3 観光の振興	千葉(多)
3-4 商工業の振興	升沢・阿部

5. 環境と調和

5-4 環境保全の推進	三枚山
-------------	-----

町ホームページで見られます▶
【第6次平泉町総合計画】



議案内容と審議結果

賛否のあった議案以外は全員賛成で可決しています。
議会定例会 12月会議（12月4日～11日）

議案及び内容	議決結果
条例案件	
選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正	可決
一般職の職員に対する特殊勤務手当支給条例の一部改正	可決
乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
下水道条例の一部改正（特定事業所の排水基準等及び下水道使用料の改正）	可決
農業集落排水施設条例の一部改正（農業集落排水使用料の改正）	可決
地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決
事件案件	
原子力発電所事故による損害賠償請求に係る和解	可決
学習交流施設の指定管理者の指定	可決
町営テニスコートの照明器具の取得	可決
令和7年度補正予算	
一般会計（生活困窮者冬季特別給付金、飼料価格高騰対策畜産農家支援金、キャッシュレス決済利用促進事業委託料、起業・事業承継支援事業費補助金、職員人件費、会計年度任用職員人件費などの増額）	可決
国民健康保険特別会計補正予算（会計年度任用職員人件費の増額）	可決
健康福祉交流館特別会計補正予算（会計年度任用職員人件費の増額）	可決
町営駐車場特別会計補正予算（駐車場使用料の減額、職員人件費、会計年度任用職員人件費の増額）	可決
下水道事業会計補正予算（職員人件費の増額、下水道使用料の減額）	可決
水道事業会計補正予算（企業債償還利息などの増額）	可決
議員発議	
「人口減少対策に関する提言書」提出に関する決議	可決
「社会基盤整備、農業振興策及び観光・産業振興策に関する提言書」提出に関する決議	可決

議会定例会 1月会議（令和8年1月6日）

議案及び内容	議決結果
令和8年の会期の決定	
令和8年1月6日から令和8年12月27日までの356日間	可決
令和7年度補正予算	
一般会計（生活応援商品券業務委託料、物価高対応子育て応援手当の増額）	可決

賛否の公表

議 案		賛否のあった議題													賛 成	反 対	議決 結果
		議員名															
議案第51号	平泉町下水道条例の一部を改正する 条例	小 埜 寺 享	千 葉 多 嘉 男	大 友 仁 子	氷 室 裕 史	阿 部 圭 二	三 枚 山 光 裕	真 筆 光 幸	高 橋 伸 二	佐 藤 孝 悟	千 葉 勝 男	升 沢 博 子	高 橋 拓 生	9	2	可決	
議案第52号	平泉町農業集落排水施設条例の一部 を改正する条例	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	－	9	2	可決	

※採決に議長は参加していません。

議長交際費を公表します

10月分	25,000円
11月分	14,000円
12月分	12,000円

（祝賀会、懇談会費など）
（祝賀会、懇談会費など）
（意見交換会、懇談会費など）



※詳細はHPをご覧ください。

議会定例会 3月会議のお知らせ

3月4日(水)～13日(金)開催予定

※本会議はインターネットで生中継しています。
※傍聴にお越しください。





ちば 高 田 議員
千葉多嘉男 議員



全文はこちらから

交通確保のためのライドシェア導入は

答 状況に応じて対応する

問

夜間のタクシーが不足していることから、ライドシェア構築のため実証実験的な運行から始めて

町長

新たなライドシェアの導入は考えていない。交通事業者の運転手不足などによってサービスの提供に支障を来すような状況になれば、新たな仕組みとして検討する必要があるもので、状況に応じて対応する。

問

国の公共交通政策としてライドシェアが制度化された。交通手段の確保を図るため、ライドシェア制度について活用する考えがあるか伺う。



地域交通の要であるタクシー

住民の方から夜間のタクシー不足の相談を受けた生の声です。実情にあった対応を望みます。

議員の
ひとりごと

みる考えはないか伺う。
まちづくり 事業者に
推進課長 おいて、人員不足や車両不足が生じる場合には、ライドシェアの導入を考える必要があると伺っている。必要に応じて交通会議の場で議論したいと考えている。



まえ 真 議員
まごめ 眞 議員



全文はこちらから

クマ対策に携帯ラジオの配布を

答 有効な手段と認識している

問

クマよけの鈴は効果が無いと言われる。人の話し声がクマを近づけない手段として有効とされる。ランドセルに付ける携帯ラジオを配布する考えはないか。

教育長

クマの出没が確認された場合、保護者への引き渡しと情報の伝達を行っている。

問

子どもの登下校時の安全を確保するためタクシー送迎の予算を計上すべきでは。

教育長 有効と認識するが、電池交換や生徒の管理など



カバンに携帯ラジオを

クマに子ども達の生命が脅かされぬよう、登下校時の安全を確保する施策が必要です。

議員の
ひとりごと

検討しなければならない。
問 福島県のクマ被害に遭わぬ10箇条を参考にすべきではないか。
教育長 児童・生徒の安全確保手段を検討する。



ひろ 室 議員
ひろし 裕史 議員



全文はこちらから

体育館への空調設置は

答 活動保証の上で極めて重要

問

国は空調設備整備臨時特例交付金を創設した。仮にこの交付金を活用し体育館に空調を設置した際、町負担はどの程度になるか。

教育長

制度活用時は町負担が半減し、平泉小学校で4300万円、長島小学校で3300万円となる見込みである。平泉中学校は断熱工事も加味し、6100万円を見込んでいます。

問

現在、保護者会活動の暖房使用は実費負担である。地域移行を見据え、保護者負担改善の観点から改めるべきではないか。



冬期の環境改善を

学校部活動は地域移行への過渡期を迎えています。冬期の暖房費等、活動最低限に必要なものは保護者会等が無料で使えるように配慮があるべきではないか。

議員の
ひとりごと

教育次長 保護者の負担軽減という視点も地域移行において重要な視点の一つである。暖房費に限らず、負担軽減については今後考えていく。

充実した学習環境は

答 効果的な学習環境に努める

問

学校でのインフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの集団感染を抑止するため、環境衛生機器を導入する考えはないか。

町長

小中学校の各学校へ空気清浄機とCO₂モニターを配置し児童生徒の健康維持と集団感染の抑止に努めている。

問

中学校においてオンライン英会話レッスンを導入する考えはないか。

町長

中学校では、英語教育推進員、A-LT（外国語指導助手）を2名配



学習環境の充実を

英語を担当する教員の8割が、子ども達が英語の授業中、不安やストレスを感じる場面がある、と言う。英語を楽しく学ぶ方法に期待する。

議員の
ひとりごと

置している。今後、より効果的な学習環境の充実に努める。



さんまいやまみつひろ
三枚山光裕 議員



全文はこちらから

町民温泉の節水で経費の節約を

〔答〕現場を確認し検討したい

問 名古屋市では「高齢者排せつケアコールセンター」を設置し「排せつ・オムツ」の悩み相談を受け付けている。平泉町でも同様の相談に対応する体制をつくるべきではないか。

町民福祉課長 業者と現場を確認して検討したい。

問 町民温泉に節水シャワーヘッドを付け、水風呂の水道の流しっぱなしを防ぐための装置を付ければ、年間で200万円の経費節約の可能性はある。直ちに実施すべきではないか。

町民温泉に節水シャワーヘッドを付け、水風呂の水道の流しっぱなしを防ぐための装置を付ければ、年間で200万円の経費節約の可能性はある。直ちに実施すべきではないか。

町長 排せつケアコールセンターの設置は現時点では予定していない。排せつに関する正しい知識について町広報で周知する他、各種イベントを通じて啓発に努めていく。



財源の繰入れが続く町民温泉

水風呂で大人一人の溢れた水は4～5分で満水に戻ると質問した。湯気の向こうの高い場所の風呂場の時計でなく、腕時計を付けて計ったら半分の2分だった。冷たい水風呂には入りたくなかったが自ら「実験台」に!!

議員の
ひとりごと



あべ けいじ
阿部圭二 議員



全文はこちらから

新規就農者の掘り起こしは

〔答〕地域おこし協力隊も視野に

農林振興課長 現在も新規就農者は耕作放棄地などで農業をしている。新規就農者はワンストップ窓口やトータルサポートを

問 水稲から園芸を始められる支援を強化し、年齢制限を外すべきではないか。

町長 地域おこし協力隊で町内外の新規就農者の掘り起こしは有効な手段である。他自治体の取り組み状況を参考に検討していく。

問 地域おこし協力隊で町内外の新規就農者を増やす取り組みはできないか。

町長 地域おこし協力隊で町内外の新規就農者の掘り起こしは有効な手段である。他自治体の取り組み状況を参考に検討していく。



耕作放棄地は園芸で活用を

新規就農者の多くが園芸を希望している。水稲とともに園芸ができる支援が必要ではないか。

議員の
ひとりごと

鳥獣被害対策実施隊員の確保を

〔答〕持続可能な体制づくりに努める



おの であら とおる
小笠寺 享 議員



全文はこちらから



環境整備による共存社会へ

町長 現在の状況においては、必要な人数は確保していると判断しているが、鳥獣被害状況は年々変動しており、高

問 当町の鳥獣被害対策実施隊は35名であるが、中長期的な視点から実施隊員の人数は確保出来ていると考えているか。

町長 現在の状況においては、必要な人数は確保していると判断しているが、鳥獣被害状況は年々変動しており、高

当町でのクマによる人的被害はなかったものの、目撃情報は過去最多となった。クマに限らず鳥獣被害が無くなるよう体制強化に期待したい。

議員の
ひとりごと

農林振興課長 目撃情報が多い地区については優先的に整備を行う。花立・佐野地区においては、令和8年度に実施できるよう検討する。

問 人とクマの棲み分けをする緩衝帯設置は2地区実施しているが、他の地区においても、緩衝帯設置は必要ではないか。

高齢化や隊員の負担増が懸念されることから、若手の人材確保や育成に努め、持続可能な体制づくりを進めていく。

中尊寺通り再生への対策は

〔答〕空き店舗改修の補助を創設



ますざわ ひろこ
升沢 博子 議員



全文はこちらから

観光商工課長 店舗改修費への補助金の創設を予定。今後対象経費や補助限度額

問 起業に繋がる空き店舗改修費の補助などの支援の考えは。

町長 商工会への委託事業、創業塾への女性の参加が増えており、創業した35名のうち4割は女性である。今後も商工会と緊密に協力体制をとっていく。

問 商工業者減少の中、女性経営者は18%から22%に増えている。起業へのサポートは。

町長 商工会への委託事業、創業塾への女性の参加が増えており、創業した35名のうち4割は女性である。今後も商工会と緊密に協力体制をとっていく。

商店街再生へ、町と商工会が本気になって取り組む時ではないでしょうか。

議員の
ひとりごと



散策しなくなる中尊寺通りへ

観光商工課長 商工会への加入でスタートアップから、フォローアップまでの伴走支援を受けられる。

問 自己実現型、地域貢献型のモデルビジネスが注目されている。このような層を育てることが町の活性化に繋がるのではないか。

を確定していく。

他の自治体は どうなっているの？

産業建設常任委員会

当町における景観づくりや産業・観光振興に生かすため、歴史的景観を持つ神奈川県鎌倉市を行政視察先に選定し、同市の景観条例と社会問題化しているオーバーツーリズムについての取り組み方を学ぶことで、課題解決へ役立てていきます。

神奈川県 鎌倉市役所 地域にあわせた景観条例を

鎌倉市の景観条例は地域ごとに特性を持つことが特徴である。また審査を届け出後に行うなど、市民生活に対し、柔軟な対応も行っていた。

鎌倉市における「景観条例」は、市民生活と建築物のバランスを重視し、規制に当たっては助言・指導型の柔軟な運用と届け出後の審査で調和を図り住民との合意形成を重視している。平泉町においては、景観重点地区の見直しと整理、色彩についても業者やハウスメーカーに対する事前の対応と、住民合意が図られた景観形成の取り組みが求められる。



平泉町との違いとは…

総務教民常任委員会

本委員会の調査テーマである「人口減少対策」について先進的な取り組みを行っている自治体を視察し、平泉町との比較検討を行いました。今後の委員会活動に役立てていきます。

山形県朝日町 政策推進課 資源の最大限の活用を

当町との最大の違いは、資源活用の差であると考えられる。全国でも数少ない空き家活用の成功例である朝日町はどのように対策を講じたのか。

工房としての古民家での暮らしの発信、空き店舗を活用した飲食店の開業などが見受けられた。特筆することは、地域おこし協力隊制度を早い段階から活用したことで、婚活・空き家対策・空き店舗等の様々な分野に隊員の活動が広がったことである。



町内資源の有効活用を

先進自治体
から学ぶ!!

まちづくりの取り組みとは？ 課題 解決への道筋を見出す！

神奈川県 鎌倉市観光協会 観光混雑への考えは

いわゆるオーバーツーリズムに対し、観光振興と市民生活の両立について、外国人観光客が増加しても日本人に愛される観光の向上に努めるとしていた。



大混雑する小町通り

鎌倉市は、日中に特定の場所だけが混雑し、観光客のマナーの悪化が市民生活への大きな影響となっている。慢性的な混雑による観光満足度の低下、地域住民への影響、安全確保等が課題となっている中で、オーバーツーリズムで外国人観光客が増えても日本人に愛される観光地の向上に取り組むと述べていた。鎌倉市観光協会が展開している事業の取り組みには参考にできる部分が多くあった。

常任委員長の



若い世代の町外移住の一因となっている「景観条例」について視察を行いました。昨年の神奈川県真鶴町と共通していたのは個人住宅の規制が緩やかで、何よりも住民との対話を重視している点でした。都市計画マスタープランが改正され、いよいよ景観条例の改正です。真鶴や鎌倉のように町民が積極的に声を上げることが大事だと感じました。

山形県東根市 子ども家庭課 子育て環境整備支援施策の充実を

巨大な遊具施設は全て無料で使うことができ「自分の責任で楽しく遊ぶ」をモットーとしている。市外からも多くの利用者が訪れていた。

子育て支援に注力し、子どもの医療費無償化や休日保育の実施、妊産婦検診費用の助成などもいち早く取り組んでいる。令和6年度には中学校給食無償化や小中学校入学応援給付金の実施も行っている。当町においても、子育て支援の充実を図ることで、子育てしやすいまちづくりを目指していく必要がある。



子どもの自発的な教育を

常任委員長の



東根市は早い段階から子育て支援を重点施策として取り組んできました。子どもの「あそび」を中心にした施設に加え、野外活動施設も作られていました。10年前にも同市を視察していますが、子育てへの理念は変わらず、自治体施策の先を見据えた継続性、積み重ねが重要と改めて認識させられました。

近隣自治体との交流

他議会との交流は相互の歴史・文化はもちろん、議会運営や広域課題における様々な事例等の情報を交換する場として非常に貴重な機会となっています。

奥州市・一関市・平泉町議会



奥州市・一関市・平泉町が相互に関係する事項について共通理解を深めるため、交流会を定期的に行っています。今回は平泉町が両市を迎えて「中尊寺清衡経と一関・奥州」という演題で平泉世界遺産ガイドセンター長 八重樫忠郎氏から講演をいただきました。

紫波町・平泉町議会



平泉町と紫波町は、奥州藤原氏ゆかりの歴史的繋がりを背景に、2025年6月「歴史文化交流協定」を締結しました。文化振興、地域経済発展、町民交流の促進を目指すものです。この日は、毛越寺貫主 藤里明久氏による「毛越寺二十日夜祭」についての講演をしていただきました。

議会改革

「なり手不足」への取り組みに学ぶ

平泉町議会が進めてきた議会改革の一環として「議員のなり手不足」「議員報酬の在り方」について、長年交流のある愛知県幸田町の取り組みを視察しました。

また、当町に立地の自動車産業本社の産業振興及び地域貢献などの活動について視察し交流を深めました。

研修期日 令和7年10月15日(水)～17日(金)

愛知県幸田町議会

幸田町は中部圏の名古屋市から近く、周辺には自動車産業が集積しており財政力も豊かである。

しかし、無投票や定数割れが続き、なり手不足の危機感から議会改革に取り組み、情報紙などによる町民への働きかけで若い世代の意識改革がすすみ立候補に繋がった。



フタバ産業株式会社幸田工場

愛知県岡崎市に本社を置く自動車用プレス部品の国内トップメーカーである幸田工場を見学した。技術力、IT化と効率化で生産性の高いシステムが構築され自動車産業の中枢として活躍する当社の視察は有意義なものであった。



アグリーフCO₂システム

フタバ産業では排出ガスに含まれるCO₂を活用し、農産物の生育に大きな効果のあるCO₂施用装置を開発している。農業分野で環境に配慮したシステムの開発は大きな効果が期待される。

適正な議員報酬とは？

12月9日に議員報酬等検討特別委員会（以下、特別委員会）が開催されました。今回は、22年間据え置かれている議員報酬改定に向けた共通認識を得るため、町特別職の報酬等と近隣市町村をはじめとした他自治体の議員報酬の確認が行われました。

平泉町の特別職（町長と議員）の報酬額

	月額報酬	期末手当	退職金
町 長	684,000円	月額報酬×3.45月	あり
議 長	271,000円	月額報酬×3.45月	なし
副議長	218,000円	月額報酬×3.45月	なし
議 員	203,000円	月額報酬×3.45月	なし

- 一関市議会議員報酬 41万円
- 奥州市議会議員報酬 36万円
- 紫波町議会議員報酬 30万円
- 那須町（栃木）議会議員報酬 25万円→33万円に改定予定
県内でも多数の議会が検討している。

最重要事項は町民への周知と合意形成

令和10年の施行に向け、特別委員会では議員報酬の算定方法の選定をはじめ、外部意見も積極的に取り入れていく。今後は、具体案の作成に向けて議論を重ね、最終的に町民に理解され、納得を得られる形を作っていく。

広報 クリニック

目を惹き、読まれる広報へ

これまで以上に町民の皆さんに読んでもらえる議会だよりを目指し、11月7日に広報研修を受けました。議会だよりにおける課題の解決は終点ではなく、新しい出発点となり、それを繰り返すことで、より良い議会だよりが作っていけるのではないのでしょうか。今後も町民の皆さんに読まれる議会だよりを目指し、広報広聴常任委員一同、一層努めてまいります。



町民の明るい暮らしのために

町内団体から要望がありました。

平泉町社会福祉協議会

11月21日に会長の寺崎敏子様から地域共生社会の実現と、さらなる町民ニーズに応えるための予算等について要望をいただきました。特に子どもサロンの見守り、学校と家庭の連携強化を目的とした要望がありました。



制度の狭間にある方の救済も

平泉町商工会

11月28日に会長の高橋幸喜様から商工業振興対策の拡充・強化に関する要望をいただきました。特に相談支援体制の強化、新事業に挑戦する中・小規模事業者への支援の拡充の要望がありました。



多岐に渡る支援の拡充を

町民ひとりひとりに町への思いがあります。皆さんの取り組みや考えを聞いてみました。

「おかずやいっ菜」の開業について。
今までいろいろなことに取り組んできましたが、念願であった拠点として毛越寺通りの建物を借り受け「おかずやいっ菜」を開業しました。
毛越寺通りの食品販売店がなくなり困っていたところに、手作りの食べ盛りサイズのおかず類は高齢者などを中心に様々な方に喜ばれています。
メンバーの一人は農産物の生産者を目指し、経験豊富な先輩たちに支えら



平泉の農業に活力を

取材を終えて
平泉農産企画女子プロジェクトの皆さんは、次の世代をしっかりと育てていると感じました。地域の困りごとに目を向け、農業の生産と加工、販売の循環をつくり、利益につなぐ。経済的にも自立した女性の仲間づくりは素晴らしいと思います。

議会、議員にひとこと。
議員さんたちと話し合う、ワークショップなどの機会があれば参加したいと思っています。その機会を作ってほしいです。

平泉に足りないものは。
・若者が元気でないと、町が盛り上がりえないのでは。

ながら、メニューの工夫やイベントへの出店も視野にしっかりと前を向いて夢を膨らませています。

平泉農産企画女子プロジェクト

農業を未来につなぐために

どんな活動をしていますか。

道の駅平泉開業に合わせて、平成28年に農産加工品を研究する集まりを前身として発足しました。発足当時は岩手県の補助事業「若手でかなえよう夢実現事業」に特産品の和がらしを使った「平泉からし肉まん」でエントリーしました。会員は現在7名で、昨年からは、夏休み、冬休み子ども食堂を平泉地区と長島地区で行っています。

写真で見る議会の活動

報酬改定で多様な人材参画を

令和7年11月13日



報酬改定のヒントへ

議会が主体となって特別委員会を組織し、公聴会などを通じて住民理解を得ながら進めたプロセスは、本町議会における報酬検討においても大変参考になるものでした。

栃木県那須町議会の議員報酬見直しについて、県南地区町議会議長会で視察を行いました。那須町では令和7年、議員の成り手不足解消と多様な人材の参画を促すため、議会が主体となって「議員報酬等検討特別委員会」を設置しました。同時期に、商工会など経済3団体からも報酬改定を求める陳情書が提出されています。同委員会による検討や町民への意見聴取を経て、令和7年9月に議員報酬は月額25万円から33万円へと改定されました。

関係省庁に対する要望活動

令和7年11月17日

岩手・宮城県際市町議会議長会として、地域が抱える重要課題の解決に向け、関係省庁への要望活動を実施しました。本活動は両県にまたがる広域課題の改善・促進を図るため毎年実施している重要な取り組みであり、本年も現地の切実な声を国に直接届ける貴重な機会となりました。



切実な声を国へ

視察・調査受け入れ

議会改革、広報編集及び観光振興についての視察がありました。

■ 岩手県葛巻町議会	輝くふるさと常任委員会	4月15日
■ 府民クラブ京都府議会議員団		5月28日
■ 青森県平内町議会	議会活性化特別委員会	7月24日
■ 茨城県結城市議会	議会運営委員会	8月19日
■ 宮城県大衡村議会	議会運営委員会	9月29日
■ 宮城県栗原市議会	広報編集調査特別委員会	10月7日
■ 千葉県袖ヶ浦市議会	清風会	10月29日
■ 千葉県流山市議会		11月13日
■ 宮城県大郷町議会	議会運営委員会	1月27日

表紙の紹介

絵本と仲間と

お話しの会「たろうアンドはなこ」は、「読み聞かせを通して読書の楽しみを共有したい」との思いから立ち上げました。

323回目となるお話しの会は、令和7年12月13日(土)エピカで行われました。

代表の「みんな～元気～？」の第一声から始まった絵本の読み聞かせ。心のこもった言葉と手振りを交えてものがたりが始まると、子どもたちは一気に絵本の世界へ飛び込みました。

現在5名の仲間は、「本に興味がある」という一点で集まり、22年間も歩んで来たことを嬉しく思い、23年目の新たなスタートにワクワクしています。さらなる魅力あふれる活動を展開したいと話していました。



大人も絵本に親しもう



平泉町議会

議長 高橋 拓生
副議長 升沢 博子
議員 千葉 勝男
佐藤 孝悟
高橋 伸二
真竈 光幸
三枚山 光裕
阿部 圭二
氷室 裕史
大友 仁子
千葉多嘉男
小笠寺 享

新年のご挨拶

平泉町議会議長 高橋 拓生

謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃より議会活動への温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は、世界遺産登録15周年、合併70周年式典、そして中尊寺落慶900年という大きな節目が重なる、誠に意義深い年です。町議会では「町民に信頼され、開かれた議会」を理念に掲げ、ICTの活用や議員のなり手不足解消に向けた検討など、時代の要請に応える議会改革を推進しております。

今後皆様の声に真摯に耳を傾け、地域の明るい未来を切り拓く責務を果たしてまいります。皆様のご多幸を心より祈念し、新年の挨拶といたします。

あとがき

昨年は県内でクマが多く出没し、役場にも例年にないほど目撃情報に寄せられ、町民の日常生活にも不安がよぎりました。今は冬眠期間のため目撃されることも少なくなりませんが、今度は積雪が町民の生活に重くのしかかっています。この時期は運動不足になり、生活習慣病のリスクも高まるようです。健康な一年を過ごせる日常生活を心掛けていきましょう。

氷室裕史

編集スタッフ

委員長 氷室 裕史
副委員長 大友 仁子
委員 升沢 博子
委員 阿部 圭二
委員 千葉多嘉男
委員 小笠寺 享

町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

議会だよりは再生紙を使用しています

